

高知県商工団体連合会 NO.1056(54-50)  
〒780-8035 高知市河ノ瀬町33  
TEL088-832-4838 FAX088-832-3126  
Eメール kosyoren@citrus.ocn.ne.jp  
ホームページ http://kosyoren.jp  
このニュースはホームページでもご覧になれます

# 高商連ニュース

## 全国業者婦人 第18回 決起集会・国会行動

## 高知県から12人が参加しました



財務省前集会

台風2号の影響で「参加できないかも」と不安でしたが、台風一過の晴天の下での開催となりました。  
午前中は、国会議員要請、省庁交渉、財務省前集会の3チームに分かれて行動しました。



高知県婦協の参加メンバー

晴天の東京  
揃のジャンパー姿で  
6月5日(月)に東京で開催された決起集会・国会行動には全国から800人、高知県婦協からは12人が参加しました。「集会・行動の詳細は次週商工新聞をお読みください」

### 集会アピール・行動提起

第18回全国業者婦人決起集会・国会行動は、インボイス制度の10月実施を何としても中止させるため、開会中の国会に、直接働きかけようと、開催しました。業者婦人の切実な願いである「所得税法第56条廃止」の声を結集しました。政府は大軍拡のための財源確保、軍需産業支援を推し進めています。こうした動きが、暮らし関連予算の削減や増税につながることは必至です。

コロナ禍に物価高騰が追い打ちをかけ、国民生活が危機に直面している中、原発の推進、健康保険証の廃止とマイナンバーカード取得の強制など、重大な法案が国民的な議論もないまま、自民、公明、維新、国民の賛成で、次々と可決されていることは、断じて許せません。

決起集会に向けて、「消費税減税」「インボイス中止」「56条廃止」の署名で対話を広げてきました。地元国会議員事務所を訪ね、業者婦人の実態と要求を届けてきたことは、情勢の変化を生み出す力となっています。

国会では、野党によるインボイス実施延期法案の提出が模索され、与党議員の中にも延期に賛同する動きも出ています。家族従業員の働き分を認めない56条は、日本のジェンダー差別の根幹に関わる問題だと理解され、その廃止をめざす運動は、共感を広げています。

参加のみなさんと確かめ合った思いを、全国の仲間と分かち合い、運動の前進に向けた行動を呼びかけます。

- 1、インボイス実施中止・延期を求め、いま開かれている6月議会で、意見書採択運動を強めます。
- 2、「10月から実施すべきはインボイス制度ではなく消費税5%への減税」の学習・宣伝に取り組みます。
- 3、56条廃止を求める意見書の自治体過半数の採択をめざし、粘り強く、署名・宣伝・議会請願を続けます。

4、決起集会の報告集会をはじめ、部会や役員会を開催し、参加者の熱い思いを、地元の仲間へ届けます。

今日を起点に、「いのち・暮らし・商売守り、業者婦人が輝ける世の中」の実現をめざす、たたかいをスタートさせましょう。声を上げ、行動する仲間を増やしましょう。

2023年6月5日  
第18回全国業者婦人決起集会

午後、大きな会場が確保できなかったため、3会場をリモートでつなぐための決起集会。  
集会後は、日比谷公園まで



議員会館前で、後方左から秋森さん、森さん、横田さん、藤原さん、近藤さん、前方、和田さん、川添さん



財務省前で、左から宮田さん、本田さん、橋崎さん



デモ行進しました。この集会に向けて揃のジャンパーを作り、目立っていました。大阪松原民商の方からは「ステキ



決起集会の様子



「初参加4人の感想」  
「とても楽しく、大変優しい方ばかりで、すごく良い体験ができました」(近藤さん・安芸)。「皆さん優しく楽しくたくさん笑わせてもらいました。決起集会の盛り上がりも肌で感じる事ができよかったです」(宮田さん・須崎)。「いろいろと経験ができて良かったです」(和田さん・須崎)。「歩きすぎて体中痛いのですが、心は元気になりました。楽しい時間をいただきありがとうございました」(森さん・高知)。(グループラインより)

◆参加した12名(敬称略)  
安芸:近藤佐代 香美郡:本田静子、川添とみ代、片岡由美 高知:藤原達子、横田瑞枝、森美年子 須崎:和田真紀、宮田桃子 中村:秋森久美子、橋崎律子 県:入江博孝